

「転んだだけ」と軽く考えないで…。高齢者に多い 「大腿骨近位部骨折」は、早期予防・治療が大切。

「家の中で転んだだけなのに歩けなくなつた」「自転車で転倒して股関節が痛い」。こうした何気ない転倒をきっかけに起こるのが大腿骨近位部骨折。太ももの付け根に生じるこの骨折は、高齢者では寝たきりの原因となることも多く、生命に危機を及ぼす骨折ともいわれ、近年増加の一途をたどっている。

整形外科で多くの患者と接する坂本医師はその背景をこう説明する。「原因のひとつに骨粗鬆症が挙げられます。特に閉経後の女性は女性ホルモンの減少によって骨密度が低下しやすく、男性より発症率が高いことが知られています。転倒した衝撃だけでなく、わずかな段差や立ち上がった際のバランスの崩れでも骨折してしまう

ことがあります」。

典型的な症状は脚の付け根の強い痛み。立ち上がれない、歩けないというケースが多い一方、骨折の種類によっては歩行できてもまうこともあるという。長年診療に携わる大西医師いわく、「歩けるから大丈夫」と様子を見てしまう方もいますが、時間の経過とともに骨折部がずれ、治療が難しくなることもあります。転倒後に股関節周辺の痛みが続く、足に体重をかけられない、歩きづらといった症状があれば、早急に受診することが大切です」と注意を促す。

て異なりますが、おおむね2～3週間程度が目安となります」と坂本医師。手術には、金属製のプレートや髓内釘などで骨を固定する骨接合術、骨頭部分を人工関節に置き換える人工骨頭置換術があり、骨折部位や折れ方、年齢、活動性、骨の状態などを総合的に判断し、最適な術式を選択するとのこと。

同院では坂本、大西の両医師を中心に4名の整形外科の医師が手術に対応、受傷後、当日あるいは遅くとも翌日には手術を行える体制を20年以上前から整えており、たとえ90歳以上の高齢患者であっても適応があれば、手術を実施してきた。「確かにハイリスクではありますが、近年は全身管理や麻酔技術も向上し、麻酔科医師の協力のもと高齢の患者さんでも手術を受けられるようになっていきました」と大西医師は話す。「『歩ける』は健康寿命そのもの。だからこそ、転倒予防と早期受診、そして適切な治療が何より重要です」と声をそろえるふたり。毎月一回開催される「転倒予防健康教室」、骨粗鬆症の予防・治療、骨折の再発防止まで、多職種が連携し、一貫して患者に寄り添う同院。健康に歩き続けられるよう、一人ひとりに寄り添った取り組みが行われている。

お問合せ 岡山旭東病院
086・276・3231



整形外科 医師
坂本一晴

整形外科 医師
大西 亨

NEWS

岡山県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業県民公開講座

もしもの前に知っておきたい！ 脳卒中・骨折の正しい備え

日時：2026年10月24日（土）14:00～16:00
（介護・歯科・栄養相談ブース 13:00～14:00）

会場：岡山県医師会館 三木記念ホール

参加無料

申し込み
不要

どなたでも
ご参加
できます



イベントのご案内

当院では、健康教室や園芸教室、コンサート、展示会など、どなたでもご参加いただけるイベントを開催しています。ぜひお気軽にご参加ください。



岡山旭東病院
イベント情報▶

脳卒中や大腿骨頸部骨折は、誰にでも起こり得る身近な病気・ケガ。新しい治療やリハビリテーション、予防のポイントが分かりやすく学べる県民公開講座を開催します。当日は脳神経外科や整形外科、総合内科の医師をはじめ、多職種の専門家が講演。介護・歯科・栄養相談ブースも設けられ、日頃の疑問や不安を気軽に相談できます。ご本人はもちろん、ご家族や将来に備えたい人もぜひご参加ください。

お問い合わせ：086-276-3231（岡山旭東病院） もも脳ネット事務局：岡山旭東病院、岡山リハビリテーション病院

No.143

おとな、暮らし、ときどきプレミアム

2026

9-10月号

1100円

(本体1000円)

オセラ

乗った瞬間から物語が始まる。

列車とともに、旅へ。

和歌山／高野山 | 愛媛／道後・大洲 | 徳島／大歩危・祖谷 | 島根／出雲

大人のゴルフの
楽しみ方。

まち・みち案内
広島県 府中市

大人のためのご馳走。

とっておきを探しに。